

DR.RATH HEALTH FOUNDATION

「製薬業界は一般大衆を欺いている」



製薬業界は一般大衆を欺いている

製薬業界は私達の社会をコントロールし続けます。製薬業界の求めるところは医学研究をコントロールし、医療従事者をこの製薬業界に依存させることです。この権力を確実に手放さずに済むよう、製薬企業は立法機関およびメディアをうまく操っています。全メディアを通じた大規模な宣伝キャンペーンでは、医薬品の PR および宣伝部門によって、製薬業界の真実を隠そうと煙幕が張られています。

製薬企業は、ルイ・パストゥール、ロバート・コッホ等の医学上のパイオニアと重ね合わせて自社のイメージを描こうとしています。彼らは人道主義に基いて疾病の根絶を目指していると主張しています。しかしながら、真実はまったくその逆です。つまり、製薬業界は、製薬市場拡大の基盤として疾病を存続させ続けることが目的なのです。コーデックス・カルテルは、意図的な疾病の根絶妨害をその目的としています。したがって、製薬業界は人類救済の伝統にもとづいてではなく、自らの利益を維持するために無数の人間を犠牲にする組織的犯罪者のグループである IG ファルベン社の伝統に基づいて運営されているのです。

製薬産業の他の宣伝でも、感染症の根絶は製薬企業の恩恵であるなどと視聴者を騙していますが、実際は、ペニシリンやその他の抗生物質同様、感染症の重要な治療法も、おおむね公共の基金を使用した大学で発見されたというのが実態です。製薬産業が成し得た唯一の行為は、自分達の利益のためにこれらの発見を直ぐに利用しようとしたことです。何百人もの国民・納税者のお金がかすめ取られたのです。私達は国公立大学の研究に対して資金を支払うばかりか、公的資金で開発され製薬企業によって市場に出回る薬の代価を払

うはめになりました。

さらに別の PR キャンペーンの騙しの一例として、製薬企業は自らの功績により平均寿命が今世紀を通じて 2 倍になったと主張しています。しかしながら、寿命の延長は衛生の飛躍的な向上の結果であり、抗生物質やその他の薬剤と関係がないことは、どの医学部のテキストでも記載されているのです。嘘も甚だしいものです。製薬企業カルテルがビタミンについての医療情報の公開を禁止しようとし、それによって何百万人の平均寿命が数十年も短くなるというのが真実なのですから。

一般大衆を欺く手口の一つがコレステロール降下剤キャンペーンです。冬眠する動物は無数にいますが、その間、1 デシリットル当たり 400mg から 600mg のコレステロール値を保っています。それでも動物たちは、体内で生成されたり植物から摂取した十分なビタミンの作用で動脈壁を安定させているので、心臓発作を起こすことはありません。コレステロールと心臓病の関係はコレステロール降下剤メーカーによって植え付けられた固定概念の一例です。

コレステロール降下剤に関して私達が知っている確実な情報は、この種の薬がすべて癌の原因となるということだけです。1996 年 1 月、米国医療協会ジャーナルは、世界中の何百万人もの人々が服用しているコレステロール降下剤が癌の原因となったという事実を発表し、医学界および一般大衆に警告しました。製薬企業はこの事実を快く受け入れませんでした。大規模なテレビ放送や宣伝キャンペーンを総動員して、あたかもロリーポップやチューインガムであるかのように、この癌の時限爆弾を売り続けています。

1997 年 6 月 23 日、フォーチュン誌(ウォール街で読まれている主要誌の 1 つ)は、医療制度に関する記事を書きました。それは、「根絶治療が流行すると皆が敗北する」と主張する製薬企業の投資コンサルタントのインタビューが特集されていました。「皆」とは、無論あなた方あるいは何百万人もの患者のことではありません。このコンサルタントは、製薬企業内の研究および治療の決定が株主の経済的な利害によって誘導されることを、ウォール街なら誰でも知っている事実だと述べただけだったので。

過去 25 年間の製薬企業の利益は、すべての産業部門の平均に対して 500 パーセントという高倍値をあげています。現在進行中の疾病を扱うビジネスは世界で最も利潤の高いビジネスであり、何百万人もその薬の代価を払い、何百万もの人々が直接あるいは間接的にそのビジネスを潤しているわけです。

「疾病ビジネス」を禁止しよう: ケムニッツプログラム

私達は何をなすべきか?

これらの事実から、全く新しい構造の医療制度を持つ必要性が強調されます。毎日私達はこういった理不尽な行為が引き続き行われるのを認め、何千人もの人々がその命を犠牲にしているのです。私達は何をすべきでしょうか?

アメリカでは、34 州の司法長官が喫煙による医療費の償還を求めてタバコメーカーを訴えました。タバコジャイアンツと呼ばれるタバコ会社はその訴えに震え上がり、その製品で生じた損害の賠償として 4000 億ドルという究極とも言える罰金に直面しました。もちろん、彼らは自分達が犯した罪を全て知っていました。もし私が間違っていなければ、製薬企業によって何百万人の人々や世界各国の公共機関にもたらされた損害は、タバコによる損害の数倍をくだらないはずです。

事態を変革する最も重要な取っ掛かりは、製薬企業の理不尽な行為を非難するだけでなく、自ら進んで新しい医療制度の構築に参加することから始まります。製薬企業カルテルのくびきから解放されたあかつきには、人類の健康改善の前途は驚くべくものになるでしょう。極めて一般的な疾病に関しては、次の数世代内にコントロールできるようになります。また、平均寿命は 10 年以上延長するでしょう。健康なままでの加齢は稀なことではなく、ごく当たり前になるでしょう。

私は人類の歴史上で、かつてこれと同じように強力な小利益集団にからめ取られた状態から人類が自らを解放した事例が無かったかどうかと自問してみました。そして、ここに

歴史的な類例をご紹介します...

歴史は繰り返す: 誤った依存からの解放

500 年前にあなたがヨーロッパのどこかで暮らしていると想像してください。人口の 80 パーセントは想像に絶する最悪の状態です。読み書きができず、子供の二人に一人は本来なら予防できる幼児性疾患で 5 才の誕生日を待たずに死んでいきます。公爵や土地の有力者へ納める年貢のために、あなたは殆ど無一文です。

当時のヨーロッパで唯一の教会であるローマ教会は、何百万人もの信者に向かって「天国へ行きたければローマ教会に従う以外ない」と断言しています。

免罪符を買わないとあなたの魂は煉獄に、あるいは直ちに地獄に墜ちることになるとローマ教会は言うのです。ローマの教会はこのようにして当時の通貨であった何百万ターレルを忠実な信仰者から免罪料という形で強奪しました。強奪された免罪料は当然世俗的な目論見のために使用されました。例えばローマのサンピエトロ大聖堂の再建や贅沢な金の装飾などに使われたのです。安定した収入を確保するために、免罪料の取立て人は定期的に中世のヨーロッパの村や町を訪れました。彼等の謳い文句は:「ターレルがこの金庫に入った音が響けば、魂は煉獄から抜け出す」でした。そこで葛藤がはじまります。最後の 1 セント銅貨を使って子供に食べ物を与えるべきか、あるいは、自分の魂が天国へいくための切符を買うべきか、自分で判断ができません。しかし、1517 年 10 月 31 日、ある若い僧がヴィッテンベルク城の城壁に抗議文である 35 ヶ条の論題を釘で打ち付けました。

マルティン・ルターのメッセージは簡潔で明瞭でした:「天の鍵はあなた自身の中にあるのだから、ローマ教会も誰も天への鍵を売ることはできません。」このメッセージは単純なものではありますが、精神的な解放の旋風を吹き起こしました。急に何百万人もの人々が、数十年間、ローマの無限の富というたった 1 つの目的のために自らが騙され搾取されていたことを悟ったのです。

解放の嵐は非常に強力だったので、世界の既存のシステムは崩壊し始めました。わずか 4

年後の 1521 年 4 月 18 日、ルターはヴォルムス市の帝国議会で皇帝の面前に召喚されました。皇帝カール 5 世およびローマ教皇特使は、古臭い秩序を安定させるため、ルターに行為の撤回を強要しました。しかしルターは撤回しませんでした。



この日のヴォルムスは、この一千年間で最も重要な一日となりました。というのも、この日が一千年間の発展に比類のない影響を及ぼしたからです。百年にわたる精神的な奴隷的束縛から人々の心は解放され、不可逆的なものとなりました。

何百万人もの無学の農民が、ドイツ語で書かれたバイブルの助けを借りて読み書きを学びました。16 世紀の間に、ヨーロッパの文盲率は 80% から 20% まで下がりました。今や人々が字を書けるようになったので、通商や貿易が開花し始めました。

ルターの同時代に生きたウルリヒ・フォン・フッテンは、信じられないような解放の感想を記述しています:「生きることはなんて素晴らしいことなのだろう。」中世の時代はこれを最後に幕を下ろしました。人間の精神および知性の解放は社会のすべてにおける資源を解放し、ヨーロッパをこの地球上で最も影響力のある大陸にしました。

それから 500 年たった今でも、私達はかつてと同じ様な依存の中にいます。今回はその依存が心や知性に関するものではなく、私達の身体や健康に関するものなのです。ちょうど 500 年前に、何百万もの人々が精神的な幻想のために最後の金銭を奪われたように、今日では製薬業界が私達の健康を奪い取っているのです。

この幻想にも終止符を打つ時がきました。今日提言するメッセージは 500 年前のように簡潔なものです。あなた自身以外の誰もあなたの健康の鍵を握る人はいません。500 年前の知的解放の例を見ればわかるように、人類の健康への解放は、社会の全域にわたって様々な資源を解放することになります。

私達は、もう 1 日たりとも待つことはできません。今日、ここケムニッツで人間の健康のための解放を目指した論題を壁に打ちつけます。しかし、これらは論題以上のものです。臨床研究の結果は既にこの論題を確認しています。今日、私達は世界的な規模の新しい医療アプローチの基盤になるともいえるケムニッツプログラムをここに示します。

ケムニッツプログラム

1. 地球人である私たちは、20 世紀の終焉においても身体・健康・疾病の原因について十分な知識をまだ持っていません。何百万人の人々が身体の機能不全により、疾病の存在によって利潤を得る特定の利益団体、特に製薬業界に、身体的及び経済的に依存することを強いられています。

2. 製薬業界の企業目的は疾病の予防や根絶ではなく、疾病を利用したビジネスに焦点を当てています。製薬業界は製薬市場の持続的な成長のための前提条件として、疾病の存続が直接的な財源となることを重視しています。

3. 製薬業界の最も利潤の高いビジネスは、最も蔓延した疾病から生まれます。製薬業界はそれ自体、循環器系疾患・高血圧・心不全・癌・骨粗鬆症・その他の疾病のコントロールにおける医学的発展の大きな障害物となっているのです。

4. 疾病を利用したビジネスは最も利潤の大きいビジネスの 1 つです。製薬業界の上げる利益はその他の産業平均の数倍にもなります。この製薬業界における利益は医療コストを急上昇させる主因としてあげられます。事実、世界のすべての産業国の経済は製薬業界の完全な支配の中にあります。

5. 地球人である私たちは、かかる事態によって 2 倍もの損害を被っています。第 1 に、私たちは、その急上昇する医療コストを直接・間接に引き受けざるをえません。第 2 に、私たちには健康という形でも公共保健体制の整備という形でも、自ら支払った費用の見返りが与えられていません。

6. 製薬業界のあからさまな抵抗に会いながらも、循環器系疾患の抑制という医学の進歩は今や達成されました。心臓発作や脳卒中は本来の疾病ではなく、慢性のビタミン欠乏症の結果であり、予防可能なものです。

7. 人類が心臓病の病害から解放される機会がやってきた今、製薬企業はこれを妨害する目的で世界的なカルテルを組織しています。自ら目的を達成するため、製薬企業は循環器系疾患が今後も存続し続け、何百万もの人々が天寿を全うする前に死ぬのを喜んで受け入れるのです。

8. その活動により、世界中の人々が、製薬業界の真の行動目標が何であるのかを理解しました。地球人である私達は、もはや自分自身をこの非倫理的な利益団体の喰い物にする気は有りません。

9. ビジネスの基礎を疾病の存続におく製薬業界は理不尽であり、人権の基本原則に従っていないことを、私達はここに宣言します。私たちは、この業界の商行為を速やかに禁じる法的手段を要求します。

10. 医薬品の販売を促進するための意図的な疾病の存続や、疾病根絶に対する妨害が、何百万人もの死亡という結果の原因となっています。かかる犯罪の規模に鑑みて、現行法規で最高に厳しい罰に処すべきであり、直ちに世界各国で更なる法規を可決すべきです。国際レベルでは、これらの悪行が、人権違反として直ちに糾弾されるべきです。

11. 既存の製薬企業が疾病の巧妙な存続とその根絶妨害から繁栄を築いた事実は、早急に調査の対象となるべきです。製薬会社がこの犯罪に対して有罪判決を受ければ、その資産は損害を受けた側および公共への賠償として押収されることとなります。

12. この犯罪への援助および教唆により有罪とされた政治家および他の共犯者は、召喚して法の前での釈明を要求すべきです。

13. ビタミンへの自由アクセスおよびその使用を阻止する法律は撤廃されるべきです。

14. とりわけ、このプログラムは新医療制度の基盤を築きます。健康の維持および改善は譲渡不可能な人間の権利として宣言されることから始まります。

15. 新医療制度の主要な目的は、疾病の予防および根絶です。ビタミン研究および細胞医学によって、有効性が高く、副作用が無く、経済的な医療手段実施の科学的な拠り所が構築されます。

16. 地球人である私たちが新医療制度を構築し、私たち自身がこの新しい制度の基盤を築くことを宣言します。

17. この新医療制度の基盤は医療問題についての包括的な公開情報および教育の完備です。すべての町および都市には、情報供給とアドバイスを行うセンターが設立され、治療の専門家がこの新しい制度の成就に大きく貢献することでしょう。

18. 基本的な草の根医療を保証するため、既存の保健専門家のトレーニングはさらに拡張され、新たな保健専門家の育成も行われます。

19. 医療教育は学校で必修科目になり、医療問題に関する公共のさらに進んだ教育をすべてのレベルに浸透させます。

1. 医学研究および医薬品の認可は公共が管理する包括的制度的対象となります。

ケムニッツの今回の集会から私たちは、ドイツ、ヨーロッパおよび世界の人々に呼びかけます。このプログラムを支援して、あなたの町、あなたの国でそれを実行してください。自分の健康と未来の世代の健康のために実行しましょう。これからは、このプログラムを支援し手を差し伸べてくれる政治家のみに投票して頂きたいと思います。製薬企業カルテルの操り人形として動く政治家は、決して信頼しないでください。聴衆はここで数分間にわたり立ち上がり、ケムニッツプログラムに対する拍手を送りました。

本日お集まり頂いた皆様、お帰りになる際には深い呼吸をしてください。そして新しい時代が始まるこの感触を味わってください。あなた以外の誰も、私達の前に掲げられたこの使命を遂行することができません。遂行できるのはあなたご自身であることを忘れないでください。